

事務事業名		都市政策プログラム策定事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	計画係	担当課長名	越石 彰	
	施策	1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 計画的な幹線道路ネットワークの整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11345	一般	8	4	1	都市政策プログラム策定事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			市単独事業				
		任意的事業・義務的事業		任意的事業			任意的事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	23年度～26年度		根拠法令 条例等	都市計画法					
	実施方法		一部委託			一部委託					
	事業分類		計画策定・管理事業			計画策定・管理事業					
	リーディングプロジェクト		該当なし			該当なし					
市長マニフェスト		該当なし			該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度に策定された都市計画マスタープラン及び総合交通マスタープランに基づき、優先的に実施すべき個別計画・施策の立案を検討する。 栃木県が進めている長期未着手の都市計画道路の検証にあわせ、見直し対象路線の都市計画の変更手続きを平成27年度までに実施するための手続き及び資料作成をする。 				<ul style="list-style-type: none"> 長期未着手となっている都市計画道路の検証 							
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)				
業務委託		件	1	1							
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
・市民				対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
人口				人			123,182	122,582			
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)				成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
・暮らしやすさと利便性の向上				抽出された施策数		件	1	1			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
・幹線道路の整備を進め、移動が円滑にできるようにする。				上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
道路網が整備され便利になったと思う市民の割合				%			72.6	72.3			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円											
	一般財源	千円		399		422							
	事業費計(A)	千円		399		422		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目		項目		項目		項目		項目		
			業務委託料	399	業務委託料	422							
	人件費	正規職員従事人数	人	2		2							
		のべ業務時間	時間	500		500							
	人件費計(B)	千円	1,946		1,971		0		0		0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,345		2,393		0		0		0		

事務事業名	都市政策プログラム策定事業	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	担当係	計画係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン及び総合交通マスタープランが策定されたが、計画期間が概ね20年間と長期的なものになっており、各種方針も膨大なものとなっている。 そこで、両マスタープランにおける将来像を具現化していく上で、特に重要で優先的に展開する個別計画・施策の抽出を図る。さらに、それらを確実に実行するため、必要な手順についても検討する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	<ul style="list-style-type: none"> これまでの都市計画は、国・県の指導による画一的なまちづくりが実施されてきた。しかし、地方分権により多くの権限が市に移譲され、自主的・主体的なまちづくりが求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 長期未着手となっている都市計画決定案件について、廃止して欲しい等の意見がある。 都市計画道路の整備について、既存がある道路よりも新設の整備が先ではないかとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	都市計画マスタープラン及び工合交通マスタープランの将来像達成を目指すために実施するものであり、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	土地利用や交通施策は、市民や事業者の利権や財産を制限することもあり、公益的な視点が重要である。したがって、市が実施することは妥当である。 また、都市計画法による決定・変更の手続きは行政が実施することになっている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	都市計画マスタープラン及び工合交通マスタープランで示した将来像達成を達成することは、市民の暮らしやすさと利便性の向上に結びつくものである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	将来都市像を効果的に実現するため、優先的(概ね5年間)に決定・変更できる個別計画の抽出数を成果指標とした。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	⑥類似事務事業はない	理由・改善案	*類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	主に業務委託料を計上しており、妥当であると考える。
	⑦削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	計画策定のための事業であり、受益者は特定されない市民である。基本的に受益者負担を求める必要はないと考える。
	⑧受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	見直し対象路線の都市計画の変更手続きを県全体として平成27年度までに実施することにより事業終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	